



学校だより

やまつり

矢祭町立矢祭小学校

令和2年8月27日(木)
学校だより No.12

文責 伊藤 弘行

《100文字作文から》

100文字作文から心温まる2作品を紹介します。

「ドンマイ」
先生は、よく私に
と言ってくれます。
ドンマイと言われる
と、失敗してもまた
がんばろうという気
持ちになります。
「ドンマイ」は、
やる気スイッチが入
る魔法の言葉だと思
います。

ある日のこと、私
がお母さんと買い物
に行っているとき、レ
ジで、お金をどこに
入れるか分からない
おばあさんを見かけ
ました。するとお母
さんは、そのおばあ
さんに、そのおばあ
教えるいて、私も、
お母さんみたいにな
りたいと思います。

児童と担任との関係性が目に浮かびます。

お母さん、いい子育てをされていますね。

矢祭小の自慢 ～ 靴揃え・あいさつ ～



シューズのかか
かところが揃って
いて、とても美
しいです。自然に
出来ているところ
が素晴らしい
です。



あいさつが上
手な1号車バス
の皆さんです。
元気いっぱいの
あいさつで、
さわやかな気持
ちになります。

中庸の徳 中庸の「庸」

*「ちゅうよう」と読みます。

『中庸』という言葉が、ふっと頭に浮かんできました。高校時代代理系クラスにいた私は、社会科の歴史・地理には全く興味がなく、共通一次試験は「倫理社会」という科目で受験しました。「倫理社会」の先生が、この『中庸』という言葉をよく使っていました。

中身はあまり覚えていませんが、『中庸』とは、極端に多すぎることは少なすぎることに同じくらいによくない」という意味で、「過ぎたるは猶及ばざるが如し」という諺にもなっているそうです。昔むかし中国の偉い人が言った言葉で、私なりに解釈すると「何事もほどほどに」ということになります。

コロナの時代になって、「正しく恐れる」とは、どういうことか考えました。「マスクもせずに人ごみに出かける」これは、正しく恐れている行動ではありません。かといって、「感染が心配で心配で、あれをやってはいけない、これもやってはいけないと、正常な活動ができない」というのも、正しく恐れているとは言えないと思います。私は『中庸』の気持ちでコロナに向き合いたいと考えています。

明日28日(金)の引き渡し訓練、お世話になります。安全にお越しください。

14:30 マチコミメールを送信します。

15:00 東館・関岡地区の方

15:15 石井・下関・内川地区の方